河内長野市【大阪府】歷史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業

関西地方

■協議会メンバー：河内長野市／河内長野市教育委員会／河内長野市文化振興財団／河内長野市商工会／河内長野市観光協会／河内長野観光ボランティア倶楽部／河内長野市郷土研究会／文化財所有者

■構想策定年度：平成二七年一二月

■補助事業期間：平成三〇年四月二日～平成三一年三月二九日

歷史文化基本構想の概要

歷史文化遺産を将来にわたり的確に保存・活用していく上で「郷土に対する関心と愛着心を喚起」し、「多様な主体が参加できる仕組みを構築」しながら継承に努める。併せて「新たな価値付けを行い地域の魅力を向上」させることを基本方針とし、「中世一山寺院とこれに関する有形・無形の歴史文化遺産群」など５つの関連遺産群を定め、９つの歴史文化遺産保存活用地区を設定した。

観光拠点形成の方向性

・訴求力のある情報発信
・案内及び説明板の多言語化
・インバウンドを意識した仕組み作り

観光に関する課題

・情報発信の不足
・外国人観光客等の受入れ環境整備（トイレの洋式化等）の充実
・観光振興の担い手不足

事業概要

近郊における情報発信事業

情報発信

関西周辺から観光客を呼び込むことを目的に、多方面からの乗り入れがあり乗降客の多いJR大阪駅を中心として情報発信を行った。発信の媒体は、低価格で多くの箇所、好位置を確保するために、デジタル媒体（デジタルサイネージ）とした。

KPI 観心寺・金剛寺をはじめとする市内の観光入込客数：
1,000,000人(H28)→1,200,000人(R1)

市外での講演会事業

普及啓発

観光客の来訪促進を目的に、市外で講演会を開催した。講演会は、本市の魅力の一つである中世（観心寺や金剛寺や南北朝の動乱など）をテーマとした。また、来訪を促進させるよう古絵図、写真を多く用い可視化した内容とし、併せて会場内で市のPR冊子等を配布した。

KPI 観心寺・金剛寺の年間拝観者数：
200,000人(H28) →300,000人(R1)

歴史文化遺産を巡るモニターツアー事業

普及啓発

関西近郊の新たな観光地として、条件整備により旅行商品に成り得る可能性を検討するため、モニターツアー（日帰り）を2回実施した。実施に際して、文化財だけでなく自然や食事なども楽しめるようなコースとした。

KPI 歴史文化遺産を巡るモニターツアー：0人(H29) →200人(R1)

観光トイレ整備事業

活用整備

インバウンド対応だけでなく、高齢化、生活様式の洋式化に対応し、観光客等の利用の便を図るため、観光トイレの便器の洋式化や照度のアップなど、トイレの環境整備を実施した。

KPI 観心寺・金剛寺の年間拝観者数：
200,000人(H28) →300,000人(R1)

成果

① 市外でのＰＲで観光客数ＵＰ

都市部でのデジタルサイネージによる発信や市外での講演会の実施により、河内長野市の認知度アップにつながった。来訪者向けのアンケート結果によりデジタルサイネージによる誘客効果が検証された。

② モニターツアーで魅力再発見

モニターツアーの実施により、都市部近郊での歴史・自然の魅力体感・体験を提供できた。また、ツアーでの食の重要性も再認識でき、今後のツアー造成のコンテンツを紹介する参考となった。